

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

変更箇所

□	工作物の構造 (解体工事のみ)		□鉄筋コンクリート造 □その他()				
	工事の種類		□新築工事 □維持・修繕工事 □解体工事 □電気 □水道 □ガス □下水道 □鉄道 □電話 □その他()				
□	使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		□コンクリート □コンクリート及び鉄から成る建設資材 □アスファルト・コンクリート □木材				
□	工作物に 関する調査 の結果	工作物の状況	築年数____年 その他()				
		周辺状況	周辺にある施設 □住宅 □商業施設 □学校 □病院 □その他() 敷地境界との最短距離 約____m その他()				
□	工作物に 関する調査 の結果 及び工事 着手前に 実施する措 置の内容			工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容		
		作業場所		作業場所 □十分 □不十分 その他()			
		搬出経路		障害物 □有() □無 前面道路の幅員 約____m 通学路 □有 □無 その他()			
		特定建設 資材への付 着物(解体・ 維持・修繕工 事のみ)	石綿	□有 □飛散性石綿(吹付け石綿、石綿含有 吹付けロックウール等) □無 □非飛散性石綿(石綿含有ビニール床 タイル等)		□飛散性石綿に関する諸官庁届出(大防法、労安衛 法・石綿予防規則等) □飛散性石綿の適正処理の実施 □非飛散性石綿の適正処理の実施	
			その他	□有 () □無			
		その他 (特定建設 資材に付着 していない 有害物質)	石綿	□有 □飛散性石綿(鉄骨等に吹付けられた 石綿、石綿を含有する断熱材・保 温材・耐火被覆材等) □無 □非飛散性石綿(スレートボード等)		□飛散性石綿に関する諸官庁届出(大防法、労安衛 法・石綿予防規則等) □飛散性石綿の適正処理の実施 □非飛散性石綿の適正処理の実施	
		その他	□有 () □無				
□	工程ご との作 業内 容及 び解 体方 法	工程		作業内容		分別解体等の方法 (解体工事のみ)	
		①仮設		仮設工事 □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の併用	
		②土工		土工事 □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の併用	
		③基礎		基礎工事 □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の併用	
		④本体構造		本体構造の工事 □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の併用	
		⑤本体付属品		本体付属品の工事 □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の併用	
		⑥その他 ()		その他の工事 □有 □無		□手作業 □手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		□上の工程における⑤→④→③の順序 □その他() その他の場合の理由()					
工作物に用いられた建設資材の量 の見込み(解体工事のみ)		トン					
□	廃 棄 物 発 生 見 込 量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の 見込み(全工事)並びに特定建設資材が 使用される工作物の部分(新築・維持・修 繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物 の発生が見込まれる工作物の部分(維 持・修繕・解体工事のみ)		種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見 込まれる部分(注)	
				□コンクリート塊	トン	□① □② □③ □④ □⑤ □⑥	
				□アスファルト・コンクリート塊	トン	□① □② □③ □④ □⑤ □⑥	
				□建設発生木材	トン	□① □② □③ □④ □⑤ □⑥	
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他							
備考							

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。